

JENESYS2018 ASEAN 派遣プログラム第7陣の記録

テーマ：スポーツ交流(柔道)

派遣国：ブルネイ・ダルサラーム国

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2018」の一環として、日本の大学生/大学院生および引率者計18名が（ブルネイ・ダルサラーム）へ派遣され、派遣国における、日本の政治、経済、社会、文化、歴史に関する理解促進、及び日本の魅力等の積極的な発信を目指し、2019年1月22日～1月30日の日程で「スポーツ交流(柔道)」をテーマとしたプログラムに参加しました。

一行は、政府関係者との面談、在ブルネイ日本国大使館への表敬訪問、ブルネイ・ダルサラーム柔道連盟への表敬訪問、カンポンアイールス水上集落等の視察、ホームステイを行い、日本と派遣国との関係、及び現地の文化・生活に関する知見を深めました。そして、柔道交流を通じて、選手同士や地域の人々との友情を育むとともに、日本の柔道の魅力、2020年に東京で開催されるオリンピック、パラリンピックを紹介し、日本のスポーツ精神や技術等の対日理解を促す発信をしました。帰国前の報告会では、プログラム中の発見と、プログラム経験を活かしたアクション・プラン（帰国後の活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加者所属先・人数】講道館 1名、大阪教育大学 11名、摂南大学 6名

2. 日程

- 1月22日(火) 【オリエンテーション】 関西国際空港出発、ブルネイ国際空港到着
- 1月23日(水) 【表敬訪問】 在ブルネイ日本国大使館
【表敬訪問】 ブルネイ文化・青年・スポーツ省
【表敬訪問】 ブルネイ教育省
- 1月24日(木) 【学校交流】 マクタブ サイン パドッカ セリ バギンダ スルタン
高校
- 1月25日(金) 【文化視察】 カンポンアイール水上集落
【表敬訪問】 ブルネイ柔道連盟
【スポーツ交流】 柔道練習
- 1月26日(土) 【学校交流】 スポーツ スクール
【ホームステイ】 (バンダスリブガワン市)
- 1月27日(日) 【ホームステイ】
- 1月28日(月) 【文化体験】 蜂蜜採取、【ワークショップ】
- 1月29日(火) 【成果報告会】、ブルネイ出国
- 1月30日(水) 帰国

3. プログラム記録写真

	
1月23日【表敬訪問】 在ブルネイ日本大使館	1月23日【表敬訪問】 ブルネイ文化・青年・スポーツ省
	
1月24日【学校交流】マクタブ サイン パドゥカ セリ バギンダ スルタン高 校	1月25日【スポーツ交流】柔道練習
	
1月26日【学校交流】 スポーツ スクール	1月26日【ホームステイ】対面式
	
1月27日【ホームステイ】	1月28日【文化体験】蜂蜜採取

	
1月29日【成果報告会】	1月29日【成果報告会】

4. 参加者の感想（抜粋）

大学生（大阪教育大学）

学校交流や柔道交流を通じて、私達日本人に対する関心が強いと感じました。その理由には日本のポップカルチャーや機械製品（水上タクシーの YAMAHA 社製エンジンや日本国産車など）に日常的に触れ、そこに魅力を感じているためではないかと思います。また、ブルネイ国民が大変穏やかであることを知りました。滞在中、何かに怒っている人を一度も見なかったです。労働中もどこか余裕が感じられるし、微笑みかけると微笑み返されたことが非常に印象的でした。次に、王政が一度も途切れることなく現代国王まで引き継がれているという点です。日本の象徴天皇制を考えるきっかけになりました。王政に関連して、どの飲食店、建造物でも国王と第一婦人の顔写真が飾られている点も印象的でした。

大学生（大阪教育大学）

現地の学生との柔道交流を通して、意欲的に取り組んでいる人たちや柔道に興味を持っている人が多く感じられたので、環境が変わればこのままブルネイでも柔道が普及していくのではないのかなと思いました。また、言葉は通じなくても柔道やジェスチャーで会話できたのは、とても良い経験になったと思います。また、日本はおもてなしの国と言われていますがブルネイでのおもてなしも多かったように感じました。現地の食文化や生活習慣についても知ることができて良かったです。ホームステイでは、ブルネイの結婚式に参加しました。日本の結婚式とは大きく異なっていて、まず二日間に分かれていて一日目は新郎と新婦が別の会場で行っているということにととても驚きを感じました。現地に行ってみないとわからないことが多くあり、とても新鮮で楽しかったです。日本に行ってみたいと興味を持っている人たちが多くいると感じたので、今後の良い関係にも繋がると感じました。

大学生（摂南大学）

今回の派遣で感じたのはブルネイの方々の人間的な優しさと、学ぶことに対する貪欲さです。私たちは柔道交流のために二つの学校に行きました。各学校では、様々な授業や施設の見学をしました。日本では授業中に居眠りをする子も珍しくないですが、二校とも、学生は誰一人として居眠りすることなく、積極的に手を挙げて発言していました。柔道の練習の時も、体育館が暑く、決して恵まれた環境とは言えない中で、必死に私たちの技術を自分のものにしようとしているのが感じ取れました。学校の授業、柔道の練習を通して、ブルネイの学生の学習意欲の高さを感じました。また、学校見学の時に自分と一緒に行動してくれた女の子は、何一つ面倒くさがるそぶりを見せず、「暑くないですか。」などと、常にこちらのことを気にかけてくれていました。この子に限らず、

ホームステイでお世話になった家族も陽気でおおらかな方ばかりで、とても楽しかったです。日本にはないものを感じることができました。ほかにもマングローブ林や水上集落、モスクなど貴重なものをたくさん見ることができ、感動しました。治安もよくぜひまた訪れたいと思いました。

5. 受入れ側の感想（抜粋）

大学生（マクタブ サイン パドゥカ セリ バギンダ スルタン高校）

日本人はマナーがよいと思いました。親切で真心がありました。とても落ち着いてコミュニケーションが取れました。文化が違えども、友達になれることが分かりました。

大学生（スポーツ スクール）

私は個人的に日本が大好きです。なぜなら日本人は、責任感があり、優しいからです。日本の派遣団は柔道に秀でていました。ぜひ、早いうちに日本で柔道のチームに所属して習ってみたいと思いました。学校交流はとても楽しかったです。ぜひ大阪教育大学に留学し、柔道を学びたいと思います。

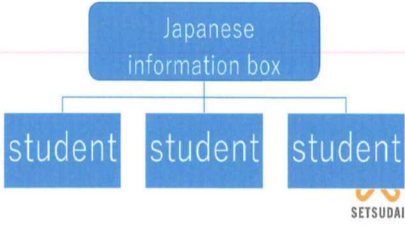
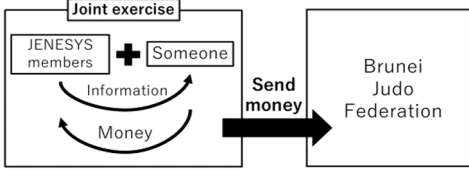
大学生（スポーツ スクール）

柔道パフォーマンスは素晴らしく、とてもうれしかったです。もっと見たいと思いました。学校交流もとても楽しかったです。またこのような交流プログラムに参加できることを楽しみにしています。

6. 参加者の対外発信

	
マクタブ サイン パドゥカ セリ バギンダ スルタン高校で学校交流。ブルネイの高校生はとても優しくホスピタリティがあることを SNS で発信しました。	スポーツ スクールで学校交流。日本の中学生にあたる生徒達がとてもフレンドリーであったのを発信しました。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

Operation 	【摂南大学】 日本のことに興味を持ってもらう為にブルネイの人をはじめ、海外の人々に日本の文化や何気ない日常、日本に来た際に役立つ情報を発信するための情報ボックスをオンライン上に開設します。
Our action plan is . . . Transmission of information and fund for Brunei's judo 	【大阪教育大学】 大阪教育大学で行われる合同練習の時に、ブルネイ柔道の現状を伝えるプレゼンをして、共感を集め、ブルネイ柔道普及のための募金活動を行います。

8 . 現地報道

	
Media Permata (2019/1/24) ブルネイ文化・青年・スポーツ省表敬訪問について	Pelita Brunei (2019/1/30) 成果発表報告会について